

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 6 月 23 日 (2011.6.23)

【公表番号】特表 2007-511983(P2007-511983A)

【公表日】平成 19 年 5 月 10 日 (2007.5.10)

【年通号数】公開・登録公報 2007-017

【出願番号】特願 2006-541603(P2006-541603)

【国際特許分類】

H 0 4 L 9/32 (2006.01)

G 0 9 C 1/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 9/00 6 7 5 B

G 0 9 C 1/00 6 4 0 D

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 23 年 5 月 6 日 (2011.5.6)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 7】

また、パス発見に加えて、U D P D V サーバ 3 0 は、信頼パスの要素（証明書）に対する有効性検証情報（プルーフ）を提供することができる。一実施形態においては、U D P D V サーバ 3 0 は、ユーザに提供された信頼パス内の各要素（証明書）に対するプルーフ（例えば、C R L 又は O C S P 応答の形式で）をリアルタイムに取得する。プルーフをキャッシュすることによって性能を向上させることができるが、プルーフをリアルタイムに取得する場合には、リクエストがあったときに最適の性能になっていない可能性がある。他の一実施形態においては、信頼パスの生成に関連して U D P D V サーバ 3 0 で使用される各証明書に対するきめの細かい状態プルーフを予め生成した規則的な間隔で受信するパス検証メカニズムを、U D P D V サーバ 3 0 に備えることができる。この実施形態では、U D P D V サーバ 3 0 は、有効性検証のための証明書状態情報をリアルタイムに検索するために余計な処理時間を必要とせずに、リライティングパーティに提供される必要な有効性検証情報のすべてに、すばやくアクセスすることができる。